世界お茶まつり2022
World O-CHA(Tea)Festival 2022,Shizuoka,Japan
OCHA 2022

静岡県立大学グローバル地域センター
Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka

静岡茶の世界を考える懇話会:シンポジウムと資料展示

世界をつなぐ静岡茶

Shizuoka tea that connects the world

静岡県立大学グローバル地域センターでは、静岡県やお茶にゆかりのある有識者の御協力により平成30年2月から「静岡茶の世界を考える懇話会」を開催しています。懇話会においては、静岡茶をめぐる歴史文化・社会経済など様々な話題について広く意見交換を行っており、並行して静岡の茶業史に係る貴重な資料のアーカイブ化・映像化を進めております。

今回、懇話会の場を「世界お茶まつり2022」に移し、江戸時代初期に隠元禅師により開創された黄檗宗と飲食文化についての学術シンポジウム、会員の研究成果や資料等の展示、お茶の映画上映を行います。多くの皆様とともに静岡茶の世界と未来を考えてまいりたいと思います。

参加 **無料**
要・事前申込

令和4年 **10月20日(木)**
13:00～16:30(12:30開場)

シンポジウム 喫茶の文化と黄檗宗

～中国、異文化往来、静岡～

※以下、敬称略

開会挨拶
静岡県立大学グローバル地域センター長　濱下 武志

趣旨説明
一橋大学大学院社会学研究科特任教授　足羽 與志子

基調講演「現代に生きる黄檗文化と喫茶の文化」
東明山興福寺住職　松尾 法道

講演
<黄檗宗と茶の文化>
黄檗山萬福寺文華殿主管、正瑞寺住職　田中 智誠
<静岡を通る外来文化の交流>
静岡県立大学グローバル地域センター長　濱下 武志
郷土史家　渡邊 康弘
<静岡喫茶文化の振興:ガストロノミー、ツーリズム、静岡人の日常喫茶文化>
ふじのくに地球環境史ミュージアム館長　佐藤 洋一郎
静岡県立大学ツーリズム研究センター准教授　カウクルアムアン アムナー

パネルディスカッション
コーディネーター　足羽 與志子

資料展示 「日本茶1200年のエポック」

10月20日(木) 12:00～16:00
10月21日(金)～23日(日) 10:00～16:00
会場:グランシップ6階 展示ギャラリー

主催・お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター
TEL:054-245-5600　FAX:054-245-5603
https://www.global-center.jp　E-mail:glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

会場 (定員:100名)

静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ10階　会議室1001

会場のご案内

アクセス
JRご利用の場合…静岡駅南口から車で15分または東静岡駅から徒歩5分
静岡鉄道ご利用の場合…長沼駅から徒歩12分

●申込方法

裏面の申込書に必要事項を記載し、FAX又は郵送にてお送りください。ホームページ又は右記二次元コードからもお申込みいただけます。

●申込期限 令和4年10月18日(火)17:00

オンラインのご案内 (定員:100名)

●申込方法

下記URLまたは二次元コードからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法を御案内します。(ビデオ会議アプリ「Zoomウェビナー」を使用します)

グローバル地域センター　検索
https://www.global-center.jp

●申込期限 令和4年10月19日(水)

シンポジウム概要

茶は喫茶の文化に息づき、豊かな喫茶の文化が茶を「茶」たらしめる。千年以上も前の昔より、中国から仏教僧が伝えた茶と喫茶の文化。仏教は当時の中国の美術、医療、土木技術など、技術や美意識に至るまで異文化を伝搬し、寺院は喫茶の文化を通じた文化中心、異文化交流の場でもあった。黄檗宗の開祖、中国渡来の隠元禅師350年遠忌の本年、煎茶の文化を伝える黄檗宗を中心におきながら、本シンポジウムを、過去を未来に繋ぎ、静岡の豊かな「喫茶の文化」を考える新しいスタートのきっかけとしたい。

登壇者プロフィール

松尾 法道（まつお ほうどう）
東明山興福寺第32代住職

1950年11月10日長崎市生まれ・興福寺の庫裡で生まれる。花園大学文学部仏教学科卒業後、黄檗宗大本山萬福寺修業道場に入堂。1975年 東明山興福寺第32代住職に就任。長崎女子商業高等学校非常勤講師、長崎玉木女子短期大学非常勤講師も歴任。海星高校在学中、ロータリークラブ招待留学生としてアメリカルイジアナ州アレキサンドリア市州立ボルトン高校へ留学　アレキサンドリア市名誉市民。

田中 智誠（たなか ちせい）
黄檗山萬福寺文華殿主管、正瑞寺住職

1949年生まれ。『黄檗文華』の編集出版、国公私立博物・美術館の企画・著述、学術図書類の校閲に携わる。編著書に『黄檗隠元』（萬福寺、1992年）、『河口慧海ネパール・チベット入国百周年記念展図録』（黄檗文華殿、1998年）、『黄檗山の十二ヶ月』（正瑞寺、2016年）、「特集 黄檗の禅 後編」『禅文化 第263号』（禅文化研究所、2021年）などがある。

濱下 武志（はました たけし）
静岡県立大学グローバル地域センター長

静岡市出身。東京大学東洋文化研究所所長・教授、中山大学（中国）アジア太平洋学院院長などを歴任。中国社会経済史、東アジア経済史、東アジア華僑華人史などの歴史学を専攻。著書に、『近代中国の国際的契機―朝貢貿易システムと近代アジア』（アジア太平洋賞・大賞）ほか。

渡邊 康弘（わたなべ やすひろ）
郷土史家

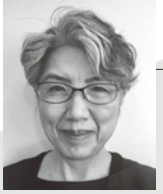
昭和29年、静岡県沼津市に生まれる。早稲田大学大学院で考古学を専攻。合併前の清水市に就職し、文化財の保護を担当。平成26年3月に静岡市を定年退職。

佐藤 洋一郎（さとう よういちろう）
ふじのくに地球環境史ミュージアム館長

京都大学農学部卒。農学博士。国立遺伝学研究所、静岡大学、総合地球環境学研究所における研究・教育への従事を経て、人間文化研究機構理事、京都府立大学教授などを歴任。専門は植物遺伝学だが、長年、イネの起源と進化、農業と環境の関係史、食文化論などの研究を続けており、2018年に設立された和食文化学会の初代会長である。

カウクルアムアン アムナー
静岡県立大学ツーリズム研究センター准教授

タイ国出身。首都大学東京博士課程観光科学域修了。和歌山大学を経て、2019年より静岡県立大学経営情報学部。研究テーマは日本とタイに繋がる茶観光の展開、2020年度トヨタ財団国際交流助成プログラム「ガストロノミーティーツーリズムによる茶産業コミュニティの活性」タイ・日本の交流プロジェクトの代表、2022年The Routledge Handbook of Tea Tourismの編集者。



足羽 與志子（あしわ よしこ）
一橋大学大学院社会学研究科特任教授、一橋大学名誉教授

静岡市出身。文化人類学、グローバル研究。博士（社会学）。ハーバード大学、コロンビア大学等で客員研究員、国際博物館会議理事、美術館評議員、教科書検定審議会委員等を歴任。スリランカ、中国、アジア諸国を中心に、宗教（仏教）、文化政策、芸術、平和構築等の幅広い領域について研究と実践を行う。一橋大学「平和と和解の研究センター」共同代表。

資料展示 「日本茶1200年のエポック」

【奈良・平安・鎌倉時代】
- 陸羽の「茶経」等の説明（沢村信一）

【室町・安土桃山・江戸時代】
- 被覆技術の開発、戦国時代の茶筅、振茶の習俗（沢村信一、中村順行）
- 江戸時代の茶屋（喫茶店）文化（吉野亜湖）

【明治・大正・昭和時代】
- 文献に基づく輸出用玉緑茶の再製加工法の再現（加納昌彦）
- 近代の輸出用着色茶の再現と歴史的背景（吉野亜湖、中村順行）
- 茶のブランド変遷（笹目正巳）
- 1920年代アメリカでの茶宣伝のありよう、J・C・ホイットニー社と「ティー・トークス」（戸部健）
- 富士製茶の茶業史資料（粟倉大輔）

【平成～現在】
- 茶のカーボンニュートラル（笹目正巳）
- 茶ツーリズム（するが企画観光局）
- 静岡大学「茶の世界」授業での学生からのアイデア（吉野亜湖）

◎奈良時代の餅茶など試飲コーナーあり ※日時はホームページでご案内します。

シンポジウム 喫茶の文化と黄檗宗（10月20日）
～中国、異文化往来、静岡～

会場参加申込書

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、10月18日（火）17：00までに、FAXまたは郵送にて「グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからもお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター

FAX：054-245-5603

●TEL：054-245-5600　●https://www.global-center.jp
●E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ 氏　名			
会社・団体名			
御　住　所	〒	TEL：	FAX：
	ご勤務先　・　ご自宅　○をお付けください。		
Eメールアドレス			
今後、当センターからの講演会の案内を	希望する　・　希望しない		

＊FAX・郵便にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、御確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。
＊新型コロナウイルス対策のため、マスクの着用、入館時の検温に御協力ください。
＊新型コロナウイルスの状況によっては、会場での開催は中止、又は会場定員を減らしての開催となる場合があります。